

中部部報

2015. 7. 1～2016. 6. 31

第2号（最終版）

- 国際会長主題 “Mission with Faith”
信念のあるミッション Wichian Boonmapaom（タイ）
- アジア会長主題 “Through Love, Serve”
愛をもって奉仕をしよう Edward K. W Ong（シンガポール）
- 西日本区理事主題 「あなたならできる！ きっとできる！」
遠藤通寛（大阪泉北クラブ）
- 中部部長主題 「踏み出そう 次の一步のための今の一步を」
荒川恭次（名古屋グランパスクラブ）





2015-2016
中部部長
荒川 恭次
(名古屋グランパス)

○部長主題

「踏み出そう 次の一步のための 今的一步を」

今的一步は踏み出せただろうか、と一年を振り返ってみれば、今期2桁からスタートした中部各クラブの会員数はまさに底であり、少しずつではあるが年々増加を目指していくと予測します。なぜなら、地域YMCAの活性化とそれに伴うYYYの連携・活動等々で、何かと変化と動きのあったこの一年の出来事が、今後のワイズ意識がその周辺に影響をもたらすのではと確信したからです。



そして、下記報告のとおり何とか一歩は踏み出せたと思います。次の一歩は次期川口部長へ委ねますのでよろしくお願いいたします。この一年を支えてくださった各クラブ会長・主査・役員の皆様に感謝申し上げます。また、京都で開催されたアジア大会では楽しさと感動で非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。素晴らしい大会運営をされた京都部の実行委員会の方々に感謝致します。



今期の第19回中部部会は、例年より若干遅い9月26日に名古屋市公館で開催しました。同日、合同メネット会を開催し、遠藤メネット事業主任の活動方針「東日本大震災支援」を受けて、福島からの被災者で「めぐりあいの会」副代表高橋貴子さんの講演は、避難された被災者の生の声として私たちの心に響きました。



中部は広範囲な地域に土地文化の異なったYMCAがあり、それを支援するワイズメンズクラブが存在します。私は各クラブ公式訪問を行い、各クラブ員・メネットの皆様とワイズ情報の共有を図ろうと、西日本区の状況、中部各クラブの現況、各事業等の情報をお伝えしました。また、中部ホームページ上には毎月部長通信を掲載して、各クラブの最新の活動状況等を発信してきました。特に情報発信としては、4月に発生した九州熊本地震に関して、SNS・Eメールを通じて得た現地の情報を中部各会長宛配信し、被災地支援に繋げることができましたと思います。



今期中部評議会は年間3回開催しました。特に第1回と第3回は現・次期合同開催として活動の流れをスムーズに引き継げる内容としました。

その他、中部各クラブの活動状況詳細はブリテンを毎月中部ホームページに掲載しましたので、インデックス掲載の過去ブリテンをご覧ください。幸い입니다。中部ホームページ：

URL: <http://www.ys-chubu.jp/main/index01.html>

○各事業活動について概要を述べます。詳細は後述の各事業主査の報告をご覧ください。

1. Yサ・ユース事業

名古屋YMCA御岳日和田キャンプ場で開催された「全国リーダー研修会」は、従来のYMCA支援はプログラムの外側から行うのがワイズのやり方でしたが、プログラムの中に入って、その一部工程を担うことはこれまでなかったことでした。正にYYYの協働作業で、これによりワイズメン、YMCAスタッフ、リーダーとの距離が大きく縮まりました。足長おじさんの役割も大切ですが、その場の空気を共有することで心が通じ合えるという人間関係の大切さを実感したものです。また、第22回名古屋YMCAチャリティランでは、21チーム、650名の参加者となり、サポーターを含めれば1000名近くが名城公園に集結し、多くの収益金を集めることに寄与できました。

2. 地域奉仕・環境事業

地域住民を招いての恒例のコカリナ演奏会が四日市で開催されました。南山幼稚園80周年記念コンサートは、南山幼稚園の園児、保護者、近隣の住民など多数の参加で、宗次ホールの協力のもとクラシックの名曲の演奏を楽しみました。名古屋南山クラブ運営の南山農場では30年にわたり養護施設の子供たち・小学生・幼稚園児を対象にサツマイモ堀りプログラムを提供してきました。また、東日本大震災復興支援として始まった風上げに替わる「チャリティーウォーク」が今年も一般参加者を新聞紙上で募集して開催され、参加者は歴史探訪を楽しみました。4月には東日本大震災翌年から始まり、今年で第4回となる被災地復興支援東北ツアーが開催されました。

3. EMC事業

中部EMCシンポジウムを開催し、中野EMC事業主任作成の詳細な資料を基に、EMCに関係する西日本区の現状を具体的な数値での確認と、それを中部に照らし合わせて今後の会員獲得数といかにドロップを減らすかについて話し合いました。今後に向けて新たな視点での取り組みが必要です。

4. 国際・交流事業

各クラブはDBC・IBC交流を積極的に行われました。また、STEP交流で来日のロシアエカテリンリング出身のMatvei Denisov君（15歳）がワイズメン宅にホームステイしました。そしてクラブ例会に参加し、ロシア（エカテリン）の現状を映像で紹介され、中々縁遠い国で実際に観光で訪れる人はまだ少ないので興味深い内容でした。

5. メネット事業

金沢・名古屋メネットクラブでは地道な活動が展開されています。金沢では手料理とワインの会が生まれ、名古屋では4月に55周年記念のメネットナイトが開催されました。前述の合同メネット会では一般メ

ネットも多数参加・協力されて盛況のうちに開催されました。

最後に、私の職務を両脇から支えていただいた中部キャビネット各位、そして支援していただいたホストクラブの皆さん、多大なご協力とご指導をいただいた中部各クラブ会長には大変感謝致します。



川口次期部長へ部旗を引き継ぎました



次期中部部長
川口 恵
(名古屋クラブ)

「荒川部長ありがとうございました。」

荒川部長は、グランパスクラブとともに1年間素晴らしいお働きをされました。

日和田キャンプ場での全国リーダー研修会での食事づくり、昨年からは開始した神沢YMCAのコンサートのほか、南山クラブとグランパスクラブ協同での南山YMCAコンサート、さらにYMCA子供スキーの指導員としても参加し、ワイズとリーダーとの距離を縮め、ワイズとYMCAとの距離もさらに縮められました。グランパスクラブ主催の東北支援ツアーを今年も継続。中部各クラブも四日市YMCAオカリナコンサート支援などでGS資金を受けるなど、クラブの持ち味を生かした活発な活動が行われました。

次年度、荒川部長のような素晴らしい働きはできないものの、気持ちだけは受け継いで、中部各クラブが生き生きとした活動をしていかれるように奉仕したいと思います。また中部各クラブと西日本区の橋渡し役として活動していきたいと思っています。

荒川部長、そして中部の各クラブの皆様よろしくお祈りします。



直 前 部 長
大 西 博 昭
(四日市クラブ)

2016 年 6 月退会



中 部 会 計
早 川 正 人
(名古屋グランパス)

1 年間を振り返り

中部会計を 1 年間引き受けました。中部各クラブの皆様には多くのご協力を頂き、有り難うございました。中部のワイズのメンバーは最も多い時期に比べかなりの人数の減少をしていますので予算は大変厳しい状態である事を実感致しました。

各クラブのメンバーのご協力を頂き節約が出来、次年度に繰り越しが僅かできました。又、熊本災害への支援も出来時期へのバトンタッチを終える事ができました。又、中部部会には多くの出席を頂き感謝いたします。1 年間無事に過し次期中部部長の川口ワイズにはより一層の協力をさせていただきます。

1 年間中部部長荒川ワイズとキャビネットのチームには大変ご苦労様でした。有難うございました。



中 部 書 記
三 井 秀 和
(名古屋グランパス)

今期、荒川中部部長が掲げられました主題「踏み出そう 次の一步のための今の一步」 これからのクラブの姿を計画しての踏み出しの一步が今からとした部長の設定した目標について常に進捗状況の把握を記録し、目標と比較することができるよう、様式等の整備させる事を書記として目指してきました。一年でしたが職務の大部分となる文章管理関係においては、部長を助けるところが逆に大変助けられて助かりました。

また部の役員、クラブ会長の各位への連絡、資料のやり取り等について、第一回評議会で認証を得て改正しました郵送からメールを活用し、以前のように経費と時間がかかる郵便物でのやり取りがなくなり、文章管理も常に共有化ができ書記として助かりました。

今期一年間、荒川中部部長のキャビネットとして掲げられた「次の一步」の目標を目指して来ましたが、今後もクラブメンバーとして書記として経験を生かして活動していきたいと思ひます。

これまでの一年間、中部役員各位に共に活動できたことを感謝いたします。



監 事
平 口 哲 夫
(金沢犀川クラブ)

2015-2016 年度中部役員・委員の皆様、ご多忙のなか任務を鋭意遂行してくださり、まことにありがとうございます。

なんと言っても部活動の山場は、2015 年 9 月 26 日(土)に名古屋市公館で開催された第 19 回中部部会(ホトリブ：名古屋グランパス)。めったに使用できない素晴らしい会場も印象的でしたが、中部合同ネット会における高橋貴子氏講演(東日本大震災県外移住者の体験談)や、中部部会における矢野きよ実氏講演(東日本大震災の被災地で子どもたちと一緒に書道をした体験談)は、時宜を得た企画であり、感動的でした。

中部 HP の「中部部長のページ」に掲載の部長通信は、毎月滞りなく発行され、中部全体の主な活動状況が簡潔に紹介されていました。この点、日本海側の金沢と違い、クラブが集中する太平洋側の名古屋に部長がお住まいだけに、地の利を得ていることも幸いしていると思ひます。

ところで中部 EMC200 は、2013-2014 年度第 2 回中部評議会で「中部 EMC200 推進委員会」の発足が承認され、2014-2015 中部部長のもとで活動を開始しま



したが、その中部部長を支えるホストクラブにおいて退会者が相次ぎ、中部部長ご自身も翌年度途中に退会という事態になりました。そのせいか、2015-2016年度は、中部 EMC200 推進委員会の活動が停止状態となったようです。しかしながら、この委員会は、存続の意義がなくなったわけでもありませんから、次期において活動を再開するべきでしょう。

なお、中部第 3 回評議会において、次年度繰越金を例年並の 20 万円とし、77,445 円を、西日本区を介して熊本地震復興支援金とする案が承認されたことは、とても良かったと思います。



中部事務局長
服 部 庄 三
(名古屋グランパス)

振返って年度最初の部行事、中部部会を名古屋市公館で開催することができました。名古屋市公館はいわば市の迎賓館、年に 2 日のみ一般に貸し出すという難関。運よく抽選にあたり準備を進めましたが、会場および備品以外は一から準備しなくてはならない状況。しかし通常では入ることも出来ない素晴らしい会場で開催できるのであれば頑張ろうと役員で決め、準備を進めました。結果ホストクラブ、役員、協力いただいたイベント企画会社、そして何より参加されたワイズ、メネットの皆さんのおかげで、無事終わることが出来ました。

また、今年度は名古屋 YMCA 主幹で「全国リーダー研修会」が開催され、サポートをワイズがお手伝いすることとなり、特に名古屋グランパスクラブと元リーダーのオネイ様達による、期間中の食事提供は大好評で、参加リーダーの思い出の一つに残ったようです。将来彼らが今回触れたワイズの人たちを思い出し、ワイズ入会の糸口になってくれればと思うのは、ワイズ皆の願いです。

今期一番の喜びは上記の活動等が評価され、西日本区大会において中部が数々の優秀クラブ賞をいただいたことです。一方中部各クラブを見ると終盤多くのメンバーが退会するクラブもあり、メンバー数の減と、平均年齢的にも徐々に上がっていく状況となってきています。今後の課題として部報 1 号にも書きましたが、区のスリム化も含め若い会員が入会しやすい仕組みづくりも模索していかなければならないと思います。

今後のかじ取りは次期の役員の方々に期待いたしますが、ワイズ発展に引き続き尽力したいと思っています。



Y サ・ユース事業主査
千 賀 将
(名古屋クラブ)

今期は 9 月に名古屋 YMCA 主管で全国リーダー研修会が開催され、たくさんのワイズメンの協力の元盛大に行われました。全国リーダー研修会参加クラブのグランパスクラブ、名古屋東海クラブ、金沢クラブ、名古屋クラブ 4 クラブが西日本区大会でのユース支援最優秀クラブ賞を受賞しました。また 11 月には YYY フォーラムが開催され、たくさんのワイズメンの参加が得られました。



各クラブにおいても YMCA サービス、ユース支援が積極的に行われたと思います。皆様のご奉仕に深く感謝申し上げます。

私自身は主査のお役目をいただいたにもかかわらず、積極的な情報発信や事業に多く参加できなかったことをお詫びいたします。みなさまの積極的な YMCA サービス、ユース支援へのお働きを見させていただき、尊敬の念を抱いたともに今後のワイズ活動への活力としたいと思います。1 年間ありがとうございました。



地域奉仕・環境事業主査
鈴木 一 良
(四日市クラブ)



各クラブで熱心な取り組みが行われた1年だったと思います。

西日本区CS資金の支援により、四日市クラブは地域住民等を招いての「コカリナ音楽会」を開催しました。演奏会では、YMCAコカリナグループのアンサンブルメンバーが日頃の練習の成果を遺憾なく発揮しました。また、YMCA幼児園卒園児による合唱では、会場全体が満面の笑みであふれ、明るい歌声には大きな拍手がわきました。



名古屋南山クラブと名古屋グランパスクラブは「南山幼稚園80周年記念コンサート」を南山幼稚園の園児、保護者、近隣の住民など多数の参加で、宗次ホールの協力のもとクラシックの名曲の演奏を楽しみました。「ドレミの歌」では園児が曲にあわせて口ずさんだり、ジブリ映画音楽もあって、途中でのクイズには園児が競って手を挙げて答えて、園児の元気さと知識レベルに感心しました。



名古屋南山クラブ運営の南山農場では、30年にわたり養護施設の子どもたち・小学生・幼稚園児を対象にサツマイモ掘りプログラムを提供しています。また、東日本大震災支援として始まった風揚げに替わる「チャリティーウオーク」が今年も一般参加者を新聞紙上で募集し開催され、参加者は歴史探訪を楽しみました。4月には東日本大震災の翌年から始まり、今年で第4回となる被災地復興支援東北ツアーが開催されました。今年は原子力発電所事故被災地を中心にご案内していただきました。

最後になりますが、各クラブのCS、TOF、FF、RBM、東日本大震災等の各資金へのご協力に感謝を申し上げます。



EMC事業主査
小林 滋 記
(名古屋南山クラブ)

活動を終えるにあたり中部部長、EMC主任の思いを各クラブに届けられたのか、各々のクラブの持つ諸事情に即したアピールが出来たのか反省しきりです。それでもグランパス、東海、名古屋各クラブの入会式に中部部長と共に参列してメンバーの増強に安堵し、11月には小野EMC主任を招いて中部EMCシンポジウムを開催し西日本区の会員状況の現状を伺い、中部にいかんにかして会員増強を図り、退会者を少なくするかを考えました。期首は二桁でスタートした中部もこの時点で(6月15日)三桁に戻りましたが年度末での退会者が少なからず有ります、何とか期首よりもプラスで終わりたいものです。



最後に次期の会長さん、EMC担当者さんへの
お願いEMC集計表は期日までに主査に提出して
下さい。今期は？今期も提出のないクラブが多々
ありました。私の説明が分からなかったのか再度
説明させて頂いたらいくつかのクラブはちゃんと
提出されましたがやはり出てこないクラブが有り
大変苦労しました。私の考えで大人のクラブなの
で再々度の案内はしませんでした。次年度は是非
全クラブの提出を望みます。



施していただけたことに感謝します。

主査の役割としては活動のサポートに加えて、各
クラブの国際・交流活動の内容を部内および部外に
報告することも重要です。これもなかなか進めてい
くことができませんでした。

各クラブ、荒川部長以下役員の皆さまに数々の手
続等を任せきりになり申し訳ありませんでした。

しかしながら個人的には勉強になった1年間です。
この経験を今後の活動に生かしていきたいと思
います。



国際・交流事業主査
清水 淳
(金沢クラブ)

1年間事業主査を務めさせていただきました。

昨年度の国際・交流事業中井事業主任の「交流は
ワイズの醍醐味、ファンはユースの育成」を事業
主題として掲げ活動しました。



とはいえ能動的な働きはできず、各クラブの活動
のサポートもできませんでした。各クラブとも国
際・国内の交流、他クラブとの交流等を積極的に実



メネット事業主査
松原 好伽
(名古屋グランパスクラブ)

今年度が始まり、まず中部メネットの活動第一歩
は9月26日開催の中部合同メネット会でした。中
部部会のプログラムとして中部役員の方々に助言を
いただき、今年度メネット主任の方針である東日本
大震災を考えることを主題に、講演も「東日本大震
災 県外避難者は語る～めぐりあいの絆から～」と
題して、福島から名古屋に避難されている、県外避
難者の自主グループ「めぐりあいの会」副代表高橋
貴子さんに、震災経験者として貴重な体験談をお話
しいただきました。震災の悲惨な体験、故郷への思
いの深さ、そして原発事故の影響の根深さを考えさ
せられました。今年は熊本地震も起こり、募金活動、
派遣スタッフの支援など、メンと共に多くのメネット
が活躍しています。

中部では金沢クラブと名古屋クラブにメネット会
があります。金沢では9月のメネット強調月間には、
メネットアワーとしてメネットがクラブ例会を担当
し、マジックショーを開催。11月には恒例のYM
CA少年会員を招いた「芋煮会」。1月には「ワイン

を楽しむ会」などメンとともに例会を盛り上げていきます。



名古屋クラブメネット会は毎月、メンとは別にメネット例会を開催し、親睦を深めています。また重度心身障がい者施設「愛実の会」（あみのかい）を20年にわたり支援し、当メネット会の重要な活動の一つとなっています。今年もクリスマス会を盛り上げました。ただメネットの年齢も上がり支援する回数が少なくなっているのが気がかりとおっしゃっています。



そして4月にはメネット会55周年を記念する会が開かれました。最長老93歳の尾関明メンと毎回例会におそろいで出席される92歳の尾関静枝メネットから、メネット会創設時の思い出話として、先輩から「ワイズメンはメネットと一緒に例会に出るのが当たり前」と言われ、それから二人で出るようになったなど等、ユーモアたっぷりに卓話していただき、メネットあつてのワイズメンという、ワイズライフの原点を感じさせていただきました。

最後に仕事の都合で、満足な活動が出来なかった私を、大いにお助けいただいた中部役員はじめ皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



金沢クラブ
会長 清水 淳



2015-2016 年度を振り返って

「一歩進んでさらに進む」ことを目標とした1年間でしたが、結果として後退はしなかったものの足踏みの1年間でした。

ドロップアウトはなく会員数は維持したものの、ビジターからメンバーとなる会員を見つけることはできませんでした。「新しいこと」を探し求めたものの実現には至りませんでした。しかしながら例会の出席率は高く、区大会・部会への参加者も多く、DBCである滋賀蒲生野クラブ・仙台広瀬川クラブとの合同例会も開催し、地に足の着いたクラブ活動はできた1年間だったと思います。



会員の皆さんに支えられて2年間の会長の任期を終えることができました。

個人的には数々の会合に参加し、多くの人達と出会い、ワイズの活動についていろいろと知ることができました。

6月例会では最初に1年間の活動を振り返りました。12回の例会に加えて西日本区大会・中部部会、おいしい食事をいただいたイタリアンディナー・ボジョレーヌーボを楽しむ会、滋賀蒲生野蒲生野クラブ・仙台広瀬川クラブとの合同例会、YMCA支援行事である芋煮会・スキーキャンプ・たけのこ掘りなど数々の行事を行いました。

新しい一歩を踏み出すことを目標としましたが、結果として踏み出すことはできませんでした。足踏みはしたものの力強い足踏みができた1年だと思っています。

2年間会長職を務めさせていただき、今期は中部の国際・交流主査も経験させていただきました。個人的には大変勉強になりました、内向きにはリーダーシップは取れずみなさんに頼りきりでしたが、外向きには積極的に活動することができました。他ク

ラブの皆さんと数々の交流を持つことができ、名古屋Y御岳・日和田高原キャンプ場への駐在や全国リーダー研修会のお手伝いなど楽しいプログラムに参加できました。



いよいよYMCA70周年、クラブ70周年、来年は山内部長の下での中部ホストクラブと大きな仕事が続きます。一步一步確実に進んで行きたいと思えます。



名古屋クラブ
会長 河部 薫

一年を振り返って（マッチベターを求めて）

「人生は一瞬、やり直しは出来ないけど、出直しは出来る。目標を高く掲げ信念を持って知恵を絞り、工夫を凝らし、行動する者だけがその地点に到達できる」



この一年、自分自身にそう言いかけながら、ワイズ活動を愛情を持って職務を実践してまいりました。我がクラブの最重要課題①メンバー増強②楽しく充実した例会。を目指し様々な卓話者を招き又積極的にゲストを呼び、所属メンバーの例会満足度を高め、③YMCA諸活動を裏方としてサポートし、あっとゆう間の1年でした。クラブの先輩：同輩：後輩諸氏のサポートに改めて感謝申し上げます。私は周りの人から感謝されたり、最高ですね、素晴らしいですね、と言われるとすごく喜びを感じます。人間は人に褒められたい動物なんだと日曜学校に通っていた時から感じていました。会長職を通じて日本中のワイズの仲間と交流する機会を得、名古屋クラブを外から観察することが出来、良かったと思います。



課題の多いクラブだと改めて感ずる一年でしたが、課題を一つ一つメンバーの知恵と創意と工夫を集め研鑽し合いワイズの夢に一步ずつ前に進むことが大切と思います。

この一年で改めて思うことは

- ① 長年ワイズとして活躍されてきた人々と新人ワイズとの融和を図ることの難しさを痛感しました。
- ② クリスチャンのワイズとノンクリスチャンメンバーのある溝をそう埋めるか。（名古屋クラブの長年の伝統）
- ③ 高齢化に抛り受動的な活動に陥りやすい状況を解消するには？

先人の言葉に「荘にして学べば即ち置いて衰えず、老いて学べば即ち死して朽ちず」とあるように、年齢に関係なく、激動する社会や世界に目を向け、又、市井に学び、愛と奉仕の求道者であるべきワイズメンとして、とどまることなく、行動することをここに改めて誓い、年は離れていても皆兄弟、遠くの親戚より近くのワイズと言われるような血の濃いクラブを目指していく心積もりです。



名古屋東海クラブ 会長 山田 英次

会長としての一年を振り返って
(5年後・10年後のYMCA・ワイズの活動を考えよう!)

この1年、会長として機会あるごとにお話ししてきたのは、クラブと名古屋YMCAのレイパーソンの高齢化です。この件については次期会長がご高齢にも拘らず引き受けていただき、主題に課題を引き継いで下さり感謝です。



7月の犬山でのクラブ総会において会長バッジを引き継ぎ、一年間会長の職をなんとか果たす事ができ、皆様のご協力にただただ感謝の一言です。

会員の増強に関しては7月に大島孝三郎君、2月に鷲尾文夫君、6月に太田全哉君を仲間に迎えることができましたが今、6月末にブリテン作成に尽力いただいた深川直君が家庭の事情で退会されたのは残念でした。



10月にはDBCの奈良クラブと御殿場クラブとの交流会を開催し、5月には御殿場クラブの30周年記念例会に参加し両クラブのメンバーと親しく交

わることができました。

名古屋YMCAの行事には8月の第59回名古屋YMCA市内中学生バスケットボール大会実行委員長の長谷川君、11月の第22回名古屋YMCAチャリティーラン実行委員長の柴田君の御奉仕により大きな成果があがりました。東海クラブが協賛する第39回名古屋YMCA平和の使者クリスマスカードコンテストも開催されました。

名古屋YMCAチャリティーウォークは名古屋市の中心部の歴史を辿り、神宮西から栄・伝馬町本町通りまでのコースを歩きました。この参加費を東日本大震災被災地の子どもたちのケアに取り組む盛岡YMCA宮古センターに捧げ、名古屋グランパスクラブの東北ツアーに託しました。

このほか多くのYMCAの行事に東海のメンバーが数多く参加しました。YMCAサービスはワイズメンにとって大切な働きであると改めて感じました。

最後になりましたが、メンバーの皆様のご理解のおかげで、何とか例会で会長の役目を果たすことができました。重ねて感謝致します。この一年間本当にありがとうございました。



名古屋南山クラブ 会長 都 築 正 和

会長の任務を終えて

「地に足をつけた活動を！」を主題に会長を引き受け早いもので1年が経ちましたクラブのメンバー・中部部の皆さんの協力もあり又体調の心配もなく何とか無事に終えることが出来嬉しく思っています、大変ありがとうございました。



クラブ運営についてプログラム展開に悩んだり苦労をしたりしましたが8月グランパスクラブとの合同例会、11月東海クラブとの合同例会と他クラブの協力を得て充実したプログラムを持てたこと、12月は久しぶりに南山クラブ独自でリーダー・スタッフを招待してのクリスマス例会、本年3月には「南山寮」の山田先生による卓話等バラエティーなプログラムが持てたと思います又南山幼稚園・神沢保育園のクラシックコンサートの後援も特記しておきたいと思います、チャリティーラン・ピースフルサンデー・熊本地震募金等僅か9名のメンバーですが全員が良く協力してくれて大変感謝しています、但し全Y的なプログラム（全リー研 etc）にメンバー数の関係で積極的にサポート出来なかったことを非常に残念に思っています。



南山クラブの絶対プログラムではY・サ支援により「ピザ窯・バーベキュー窯」の完成で大変多くの人達に利用していただき感謝するとともに本年雨除け屋根を設置し又水回りの整備をする予定です此れにはメンバーのみならず賛同していただいている方々の協力もあるようです、クラブ運営の新しい試みとして例会日を第一・第二に限らず土・日も取り入れる事を確認しました、本年も大変多くの人たちの利用が予定されており売上金の一部を「熊本地震被災支援」に充ててはとの声がありその方向で進んでいければと思います。

次年度はYMCAにもワイズにも造詣が深くポジティブで活動的な杉山メンが会長の任を担われます小生は中部国際・交流主査として微力ながらあまり背伸びをせず奉仕をしていきたいと思ひます、此の一年間の皆さんのご協力宜しくお祈ひします。



四日市クラブ 会長 阪本 則子



会長主題 「意志あるところに道はある」

Where there is a will, there is a way

四日市ワイズメンズクラブの活動報告としまして、今年度はメンバー間の絆づくり、土台作りに力を入れてまいりました。

前年度にアンケートを取り、

- ・例会でどんな事をしたいか？要望は？
- ・例会を充実しようとするとながら必要か？
- ・改善すべき点はどこでしょうか？
- ・ワイズであなたが求めるのは何ですか？
- ・卓話 メンバーで聞きたい話とは メンバー以外で聞きたい方と話とは

それをまとめ、できるだけ皆さんと一緒にワイズの方向性を考えていくようにしました。

○まず改善したことは

※決める事で多く時間を取り、例会が充実しない点です。

第2例会には次月の司会者が参加し、第2例会で決める事はほとんど決める。第1例会では次月の司会者はその内容を把握しているので、その司会者の進め方により、報告・連絡事項の時間が短くなり、卓話やコミュニケーションタイムなどの時間を十分にすることができました。



※楽しい例会→欠席したら残念に思うような例会をという事を心がけました。

○コミュニケーションタイムは2カ月に1度ずつ

実施しました。何かというと

- ・自分を語るとしたら15のこと
- ・夢を語ろう
- ・私の長所・短所とは
- ・私の座右の銘 or モットーとは 一人3分程度自分をさらけ出し話すことにしました。

その事により

1. メンバーを知る
2. メンバーの内面を知る、考えを知る。
3. メンバーの長所・短所も丸ごと受け止める
4. 知ってこそメンバーを支える事とは・・・
5. メンバーにかけける言葉も変わってくるのでは・・・

と少しずつ発展・変化してきたのではないかと思います。

○また会長副題は『和来は笑いから』と目標を立てました。

2月には特別例会として、河合家ばいるさんの落語・英語小噺をメンバー以外のたくさんのビジターさんたちを招いて実施。休憩タイムをコミュニケーションの時間として長くとり、ビジターとメンバーとの会話を楽しみました。荒川ワイズ様、早川ワイズ様もお越しくださいましたがどうだったでしょうか？

○またコカリナ音楽会として、地域の方を招いて約120名の音楽会も実施しました。



★コミュニケーションタイム・特別例会・コカリナ音楽会 メンバーの和、ビジターとの和、地域の和を強められたのではないかと。またそこには絆が生まれ、コミュニケーションの言葉も生まれたと自負しております。四日市ワイズメンズクラブの報告をさせて頂きました。ありがとうございました。



名古屋グランパスクラブ 会長 高田 士嗣



会長主題 「感動と感謝の気持ちで課題の克服」そして「感動の発信」

一年を振り返って

初めに、皆さまのご協力のもと何とか一年無事に任務を終える事が出来ましたことを感謝いたします。

今年度の主題は「感動と感謝の気持ちで課題の克服そして感動の発信」でした。

その中で重点的に取り組んだ事項も、ある程度達成できたのではないかと自負しております。そう言った意味で、今年はワイズメンズクラブ本来の役割「YMCAと地域のためのワイズ」を実感できる1年間でした。



日和田の全国リーダー研修会食事支援、卒業するリーダー感謝会、全国リーダー研修会打ち上げ会、日和田リーダー研修会支援等のサポートをすることで YMCA リーダー達と交流ができ距離を縮めることが出来たと思います。また、日和田の全国リーダー研修会はOB、OG、ちゃんねーず、他のワイズメン、地元松坂さんの協力を仰ぎ、ワイズメンとリーダーの交流のみならず、ワイズメン同志、地域の方々との親睦にもなりました。物資ではなく、参加メンバーの共同作業でのユース支援は全員充実感で一杯になり、今後も続けていきたいと思っています。その後のクリスマス会や卓話例会など、他のプログラムにもたくさんのOB、OGがゲスト参加してくださいました。ちょっとしたプチ同窓会の様でした。

南山幼稚園80周年記念クラシックコンサート、神沢ファミリーYMCAクラシックコンサートは在園児、父兄、地域の方々に参加して頂き、YMCAの活動がアピールできたと思います。

EMCメンバー倍増計画は、南山クラブとの合同例会で、荒川中部部長、小林EMC主査の立会のもと、青木メンの入会の式典（私も体験のない正式で

厳粛なものでした）が行われました。その後STEP（短期留学制度）で来日した、Metvei Denisov 君（松原家にホームステイ）の体験卓話と交流会が催され、たくさんのゲストにご参加いただきました。



東日本大震災被災地訪問は名古屋クラブ、姫路グローバル、京都東稜クラブから21名が参加いたしました。今年は初めて相馬市、郡山仮設住宅など原発被害地区を訪問、現地の生の姿を体験いたしました。盛岡クラブ、仙台青葉城クラブ、仙台YMCA、川上牧師には大変お世話になりました。この様な繋がりにより仙台青葉クラブの加藤メンと東北のイチゴ、サクランボ、海産物の販売をしています。

もっとああすれば良かったなど反省点は多々あります。そこにはメンバーの人数と予算の壁を感じました。メンバーの増強とファンド作りの強化がこれからの課題だと痛感いたしました。



津クラブ
会長 亀野 貞

会長主題: ワイズで学び ワイズで奉仕

「2015－2016 期の反省」

今季は、体調、職場環境、私的事情等々のいろいろな事情で、津クラブとして十分な活動を行うことができませんでした。

その中で、恒例となっている地域奉仕・環境奉仕事業として新年餅つき大会を聖マッテア心豊苑（障害者支援施設）および聖マッテア子供の家（児童養護施設）を訪問して行いました。施設の子供達は初めて杵を持ち、真剣な表情で餅つきを体験し、つきあがった餅を楽しそうに食べていました。



また、EMC活動につながることを祈念しつつ行ったジャガイモ・カボチャファンド事業、YMCA サービス・ユース事業の一環としての四日市ワイズ共同での三重 YMCA 幼稚園バザー等に汗を流しました。残念ながら、10月にメンバーが1人退会しました。職場の勤務体制の制約からやむを得ない事情でした。中部部長公式訪問では、メンバーの出席がままならず、津クラブの将来に不安を抱かせたのではないかと危惧しています。とはいえ、なんとか次年度につながる最低限の活動は出来たのではないのでしょうか。





金沢犀川クラブ
会長 平口 哲夫

平和を実現しよう！
Let's be the peacemakers!

会長主題「平和を実現しよう！」“ Let's be the peacemakers!” を掲げての諸活動のうち、例会についてのみ報告する。

【第一例会】通常は第2木曜 19:00~21:00、金沢都ホテルで。

7月9日(木): キックオフ特別例会、卓話「故・川上 明ワイズについての思い出」三谷ワイズ。8月13日(木): 卓話「日本古来種のワカメ・イサガメ」新田智敏氏(元・国家公務員)。

9月21日(祝月): ネット強調月間特別例会「初秋の小立野寺院めぐり」福岡澄子氏(ボランティアガイド)。下に掲げた写真は、参加者のうちの一部が解散時に天徳院前で撮ったもの。



10月12日(祝月): バーベキュー特別例会、松任海浜公園、荒川恭次中部部長・荒川恒子ネット・早川政人中部会計を迎えて。



11月12日(木): 卓話「在宅介護から学んだこと」小杉俊明氏(清水学園金沢福祉専門学校監事)。

12月17日(木): 金沢・金沢犀川クラブ 合同クリスマス特別例会、金沢ニューグランドホテル。

1月28日(木): 卓話「新春ギター弾き語りのタベ」日置深夫氏。



2月6日(土)~7(日): 新春特別例会、金沢犀川温泉 滝亭、卓話「バルト海クルーズ体験記」平口ワイズ。

3月10日(木): 卓話「縄文時代の漆文化」四柳嘉章(石川県輪島漆芸美術館館長)。

4月29日(祝金): 竹の子特別例会(金沢 YMCA 主催 “たけのこ掘り体験” 参加)、北陸学院三小牛キャンパス。



5月12日(木): 卓話「のれんが織りなす金沢の町並み」福岡澄子氏(金沢市景観みまもりたい)。

6月9日(木): 卓話「医療保険から見た TPP」澤瀬ワイズ、議事: 今年度の反省と次年度の計画。

【第二例会】通常、第4木曜 19:00~21:00、竹中チャペル(竹中歯科医院 3F)で議事中心に。

継続課題 EMC についての申し合わせ: ①各自、具体的に候補者を立て交渉し、入会式を行えるように条件を整える、②例会のゲスト参加者が増えるようにチラシを早めに作成して働きかける、③過度の負担を避け、身の丈に合った活動を心がける、④各自、得意な分野で貢献し、補いあう。

○中部の活動をもっと紹介したい画像があります。
誌面のあるかぎり掲載します。

熊本地震被災地支援募金
熊本の仲間たちを応援しよう。届け熊本へ。

名古屋にて(1)



名古屋にて(2)



金沢にて



第19回 西日本区大会にて

○バナーセレモニー

中部各クラブはどこでしょう（最前列左です）



○表彰式にて

ユース支援最優秀クラブ賞

遠藤理事、名古屋グランパスクラブ、名古屋クラブ、
名古屋東海クラブ、金沢クラブ、河合事業主任



そして第3回&第1回評議会にて

2016-2017 期へ引継ぎが整いました。みなさんお疲れ様でした。そして次期をよろしくお願いします。

